

令和3年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【金比良小学校】【光海中学校】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室

1

金比良小学校・光海中学校 現在の通学区域（校区）図



2

金比良小学校・光海中学校 近隣地図



3

各学校の現状 及び 児童生徒数の将来推計

① 現状（令和元年5月1日現在）

小・中学校	金比良小	光海中
児童数（令和元年5月1日現在）	141人	57人
学級数（特別支援含む）	7(8)学級	3(4)学級
建築年数	57年	55年
校舎延床面積（施設台帳より）	3,552 m ²	2,832 m ²
運動場面積	約 7,700 m ²	約 7,600 m ²
敷地面積	約 15,700 m ²	約 10,500 m ²
地区自治協議会区域	西	西

※敷地面積には山林や法面（人工的な斜面）を含めておりません。

② 金比良小学校・光海中学校区の児童・生徒数の推移

再編しない場合			再編した場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)	学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)
金比良小	141名	約100名	金比良 光海 義務教育 学校	198名	約140名
光海中	57名	約40名			

4

学校再編案について

目的	<p>☆両校が小規模校であることのメリットを生かしつつ、施設一体型義務教育学校導入によって小中の連携を高め、現在実施している小中一貫教育のさらなる充実を図ること</p> <p>☆金比良小と光海中の施設老朽化問題の解消</p>	
再編案	<p>◎<u>金比良小と光海中を統合し、義務教育学校とします。</u>（統合後の場所は光海中）</p> <p>（理由：すでに両校では小中一貫教育が行われています。その教育効果をさらに高めるため、施設一体型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。</p> <p>統合場所の選定理由は、光海中の方が金比良小より平地で使いやすく、また、光海中の比較的新しい校舎と体育館を有効活用したいと考えたためです。）</p>	
期待できる教育効果	学校規模	○義務教育学校という一つの学校組織及び施設一体型となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、緊密に連携しながら行うことができます。
	施設	○老朽化が進む学校を再編・整備することで、より安全な学校に通うことができます。
留意点	○小中一貫教育を導入しても、一学年あたりの小規模化という課題が残ります。	

- 小中一貫教育のさらなる充実と、学校規模対策のため、「金比良小と光海中を義務教育学校へ統合」することについて。